

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-9

部門名： 4. 校内研修プログラム開発・実践部門	エントリー名：柏市立高田小学校
活動名： 高田メンタープロジェクト 「雑談以上研修未満」で学び合う	
解決すべき課題： ベテランがいない。本当にいない。たくさんいたはずのベテランは異動、定年、退職…。新しく入ってくる先生方は 20 代か 30 代の方ばかり。ベテランの姿を見て、真似て、困ったときは相談してここまで来た。いざというとき頼れるベテランはもうすぐいなくなる。大丈夫かな…。漠然とした不安。声に出したり出さなかったりするけど、みんな持っている。	
目標・方針： ※課題を解決するためにどんなストーリーやシナリオを構想して、活動内容を組み立てたのか、記載してください。 横浜市では、各学校で「メンターチーム」を組織し、若手教職員の育成を校内で行っている、と研修で聞いた。横浜市教委の方は言った。「教師は学校で育つ」…そうだ、その通りだ。自分にできることは何か、考えた。管理職でも教務主任でも研究主任でもない私だからこそ、強制力や忖度のない会が開ける。そう考えた。会の名前は迷った。「校内教研」「学習会」ではなんか硬すぎるし、「お話し会」ではゆるすぎる。横浜市教委から「メンター」という言葉を教えてもらった。「高田メンタープロジェクト」通称 TMP。かっこいい名前ができた。「雑談以上、研修未満！」会の趣旨を一言で表せるキャッチフレーズもできた。校長は「いい取り組みだ」と後押ししてくれた。こんな会を目指した①気楽な気持ちで参加できる会。②校内の先生の実践が学べる会。③困っていることや悩んでいることを相談できる会④みんなが明るい気分になる会。⑤授業実践や学級集団作りが楽しい！実践したい！と思える⑥みんな失敗しながら成長していることがわかる会	
活動内容： ※目標・方針に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください ・月 1 回、月末開催。自主的に、お茶を飲みお菓子を食べながら学習したり情報交換したりする会。 ・16時半～18時。自由参加。出入りも自由。強制力は一切なし。 ・二部構成で、一部はレポート発表を60分程度。(表1) (写真1) ・二部はお茶会。若手のリード発言者を2名程度決め、日々感じていることを発言してもらう。	
活動の成果： ※課題設定に対して、どんな影響、変化あったか、参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。 第一部ではベテランの先生方にレポートをお願いした。学級遊びの紹介、しんどい児童への対応、体育実技研修…回を追うごとに参加者は増え、1月は担任全員が参加した。第二部では、若手の先生方の相談にベテランや30代が昔の経験談を話してくれた。みんな、昔の失敗談をして、若手を励ましてくれた。いや、励ましあった。以下、参加者の感想より ・最初は続かなかあと思うものがよくできました。みんなそれぞれの個性のある発表がよかった。お茶やお菓子を食べながら楽しくできて良かった。年齢の差を超えての研修、相互理解につながった。 ・とても有意義な時間でした。様々な年齢の方が出席して、経験を話していただき貴重な体験ができました。身のあるものになりました。そして、何より会それ自体が楽しかったです。 ・新しい研修でとてもおもしろく、いろいろな可能性を秘めている研修スタイルだと思います。	
アピールポイント (アイデアや工夫)： ※3～5つ程度、箇条書きしてください ・世代や管理職、経験年数の垣根を超え、お互い学び合える「雑談以上、研修未満」な会。 ・参加の自由が保障され、強制力や忖度がない会。本音が言え、失敗、悩み、しんどさを共有できる場。 ・コップを持参し、お菓子やお茶を飲みながらフランクに話せる。(写真1) ・同じ職場だから、自然と子どもの話になる。子どもの実態が共有できる。	

<写真、図表添付欄>

表 1 年間計画

昨年度のTMP (敬称略)	
・第1回	澤田プレゼン 麻由美山下酒井発言
・第2回	水沢 すき焼きゲーム紹介 間島里沙子井手佐藤発言
・第3回	高野 しんどい児童への対応 飯田石川発言
・第4回	山下 体育ティールボール実技研修 札幌山口発言
・第5回	高橋 大学院で学んだこと(キャリア形成) 川口倉持発言
・第6回	石田 2年1組の二年間 中島池田高橋発言
・第7回	一年間を振り返って(間島里沙子井手)

写真 1 ベテランが実践をかたる (第一部)



写真 2 一年間を振り返る初任者 (3月)



お菓子を食べながら、お茶を飲みながら聞き、語る

3月には、新任3人が30分ずつレポートした。一年間の振り返り。3人それぞれ素敵な発表。忘れられないのが、本当に大変なクラスの経営を一年間がんばった女性。ピンチは何度もあった。一年間の苦労を話した上で、この経験は「有り難し」と習字で書いた。その後、みんなで彼女の一年間のがんばりを称えた。

写真 3 校長先生 (当時) も「レポーター」



図 1 高田メンタープロジェクト (TMP) の成果

